



東濃地区の子育て・親育ち通信

# 家庭教育 なう No.11

2020年12月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 奥村  
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 209)

FAX 0573-25-7129

MAIL okumura-tamiko@pref.gifu.lg.jp

岐阜県家庭教育支援条例第2条の、家庭教育で育む9つの力(基本的な生活習慣・社会のルール・家族の大切さ・命の大切さ・思いやり・挨拶及び礼儀・善悪の判断・自制心・自立心)を考えながら、保護者の願いに合わせて家庭教育学級の内容を工夫してみましょう。9つの力につなげながら、家庭教育学級を紹介します。



家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。QRコード→

## 家庭教育学級の紹介

### 土岐市PTA連合会家庭教育学級 講演会型 講演会「現代の子どもとの付き合い方」

日時 令和2年11月7日(土) 10:30~11:45  
講師 岐阜県スクールカウンセラー・東濃地区スーパーバイザー  
可児市スクールカウンセラー及びスーパーバイザー  
川原 聡 氏

参加者 土岐市PTA連合会小中学校家庭教育学級担当者



### 子どもとの付き合い方について具体的に学び家庭教育に活かす講演会型家庭教育学級

土岐市PTA連合会家庭教育学級研修会が開催されました。新型コロナウイルス感染防止対策として、受付での検温、健康調査、間隔を取っての座席など、十分な配慮がされました。スーパーバイザーの川原さんの講演では、聴くだけではなく、隣の人と2分間目を見続けたり、質問に手を挙げて応えたりしながら、子どもとの付き合い方について、とても分かりやすく学ぶことができました。

#### 内容

- ・現代の子どもは、我がままなのに打たれ弱い。
- ・スマホでは、合う人としかしゃべらない。合わない人としゃべらないことがどんどん増えていく。
- ・一部の否定で全否定に。「最悪」「無理」「死んだ」「終わった」
- ・現代は、「なるべく言葉を使わない」社会。子どもは、「言葉を介した」コミュニケーションに成長しなければいけない。
- ・ネット社会に限界がなく、現代は、「無限」であるかのような錯覚を与える社会になっている。
- ・子どもは、無制限に愛されたいと思っている。違っても、「あなたはそうなんだね」と認めてあげること。
- ・責任を負わない子ども達。小さい頃から、少しずつ子どもに責任を背負わせていく訓練が必要。
- ・子どもの気持ちは100%聞かすが、要望は100%は聞かない。愛されながら断られる体験は、子どもの自尊心を下げない。
- ・子どもには、大勢の大人が関わるのが大切。いろんな人の力を借りて子育てをしていくこと。



現代の子どもの課題と付き合い方について、川原さんからお話を聴きました



広い会場に、間隔を取って座りました

#### 参加者の感想から

- ・お話を聞くうちに、わが子の事が思い浮かび、いろいろと当てはまり、話に引き込まれました。愛情と制限をもって、子どもに接していけるようにしたいと思います。
- ・レジリエンスは、私も子育ての中で気になっていて、今後調べようとしていたので、お話しが聞けてとてもよかったです。毎日、子どもとの関わりをこれでよかったのかと悩みながら過ごしていますが、子どもには愛を伝え、心の強い子に育てられるよう日々努力したいです。

#### 【このよさを学びたい!】

- ・話を聴くだけではなく、隣の人と交流したり、質問に応えたりして、参加しながらの講話で、自分の子育てを振り返り、我が子のことを考えながら、話を聴くことができたこと。
- ・子どもとの関わり方が分かり、すぐに実践できる内容であったこと。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策が十分とられた会場で、安心して講演会に参加することができたこと。
- ・コロナ禍であってもできることを最大限工夫して開催し、対面で話を聴くことの大切さを感じた講演会であったこと。

# 中津川市立南小学校 体験活動参加型+在宅取組型 「スクールセイフティ」～シートベルトの大切さ

日時 令和2年11月10日(火) 10:45～12:25  
 場所 中津川市南小学校 体育館・運動場  
 講師 JAF 岐阜支部の大嶽さん 中津川警察署交通課の若松さん  
 参加者 4年生児童 中津川市防災安全課4名



## 体験を通してシートベルトの大切さを学び、家庭での交通安全につながる家庭教育学級

南小学校で、シートベルトの大切さを学ぶ「スクールセイフティ」が開催され、4年生の子ども達が、シートベルトコンビンサー（シートベルト着用効果体験車）に乗車して、衝突体験を行いました。はじめに、校長先生や担任の先生がデモンストレーションを行いました。乗車された先生の「けっこう衝撃がきたよ」という言葉に、子ども達はドキドキしながら乗車し、体験を通してシートベルトの大切さを学びました。スクールセイフティで学んだことは、家庭で家族の交通安全につながります。



JAFの大嶽さんから  
お話を聞きました

衝突体験でエアバ  
ッグが出ました



### 内容

- ①体育館で、JAFの大嶽さんによるシートベルトの大切さについてのお話とDVD
- ②運動場で、シートベルトコンビンサーによる衝突体験
- ③体育館で、中津川警察署の若松さんからお話
  - ・いつなごとき車がぶつかるか分からない。今の衝突体験よりもっと大きな衝撃がある。
  - ・車に乗ってから降りるまで、シートベルトを外さない。
  - ・シートベルトをすることで助かる命がある。
  - ・お父さんお母さんに、みんながシートベルトのことを話せば、みんながお父さんお母さんの命を守ることになる。
- ④県事務所からのお話と子ども達からの質問



中津川警察署の若松さんからお話を聞きました

### 体験した子ども達とおうちの方からの感想

子: 時速5kmの速さの衝突体験の車に乗ると、目がすっごくびっくりしたので、やっぱりシートベルトはぜったいにしないと、自分の命が終わってしまうかもしれないから、自分や家族を守るために、これからもシートベルトはぜったいにしようと思いました。

親: 普段からシートベルトをするように心がけ、声をかけてはいますが、ちょこちょこ乗りの時など、気のゆるみなどから忘れてしまう事もあるので、これを機にまず車に乗ったらすぐにシートベルトをするようにしていきたいと思いました。

子: 今日、衝突体験をして2列目の席も必ずシートベルトをしようと思いました。時速5kmの速さの衝突は楽しかったけど、もっと速くなると怖くなると思うので、家族を守るためにも、シートベルトができるようにしたいです。

親: 危険なことを身をもって学ぶことができてよかったです。子どもを守るためにも、運転手として気を付けていきたいです。

子: たったの5kmでも、すごく怖かったのに、時速50kmや70kmや30kmになったらどうなるのか考えるだけでも怖いのに...車に乗ったら必ずします。お母さんお父さんも、後ろの席はつけないので、注意しようと思いました。

親: 高速に乗るときは気にしますが、一般道だと近場だしついつい忘れがちです。(後部座席の時)これからは、そろそろ子どももチャイルドシート卒業だし、家族みんな、後部座席でもいつもシートベルトを締めるよう注意し合おうと思います。

### 【このよさを学びたい!】

- ・子ども達が、衝突体験を通して学んだシートベルトの大切さを、家庭に帰って家族に伝えることで、子ども達自身が家族の命を守るようになる大切な取組だったこと。
- ・スクールセイフティで学んだことが、子ども達を通して家族に広がり、命の大切さを親子で考えることをきっかけとして、親子の絆が深まること。



# 中津川市立落合小学校 在宅取組型 「落合家庭教育週間」及び 「家庭学習がんばり週間」

実施期間 令和2年11月9日(月)～11月15日(日)

参加者 落合小学校・落合保育園・落合中学校



## 落ち着いた生活の中で家庭学習を充実させ家族の絆を深める 落合地区保小中の在宅取組型家庭教育学級

落合地区では、毎年、保育園・小学校・中学校が連携して、6月、11月、2月の年3回、「落合家庭教育週間」に取り組んでいます。この期間は、早寝・早起き・朝ごはんを大切に、生活リズムを整え、静かに勉強に取り組む環境をつくって、家庭学習に集中します。親子でルールを決めて取り組むことで、家族の絆が深まります。今年度は、コロナ禍のため、6月の取組ができませんでしたが、コロナ禍による休校期間を経たことで、家庭教育の力の大切さを再確認することができ、11月の取組の充実につながりました。

令和2年11月5日  
中津川市立落合小学校  
PTA会長 川瀬 真司  
校長 通藤 昂子

### 第2回「落合家庭教育週間」及び「家庭学習がんばり週間」 実施について(お願い)

向寒の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は、PTA活動並びに学校の教育活動にご理解・ご協力くださり誠にありがとうございます。  
さて、見出しの件につきまして下記のとおり実施いたします。この取組は、規則正しく、落ち着いた生活の中で、家庭学習を充実させること、家族の絆をより深めることなどを旨とし、落合地域の保育園・小学校・中学校が連携して、同じ期間に取り組むこととしております。

保小中が「らし」に取り組む内容	
保育園	ひんこうなせいかつづくりチャレンジ! おやこでふれあいチャレンジ!
小学校	「家庭学習がんばりカード」に取り組む ・規則正しい生活習慣づくり ・家庭学習の充実
中学校	生徒一人一人が自分の家庭での生活リズムを整え家庭学習の習慣化を図ろう

記

- 実施期間 11月9日(月)～11月15日(日) 7日間
- 実施方法
  - 「家庭学習がんばりカード」の項目に沿って点検を行い、規則正しい生活習慣づくりと家庭学習を充実させる意識を高める。
  - 「家庭学習がんばりカード」は、毎日チェックし、保護者印をもらい学級担任に提出する。
  - ※最後に保護者の方も感想をご記入ください。11/16日(月)にお子さんを通して提出してください。
- その他
  - この期間は、テレビやゲームをなしとするなど、落ち着いた生活のためのルールを家族で相談し、実行していただけるとありがたいです。

取組案内には、保育園、小学校、中学校の内容を一緒に掲載しました

1年用、2年用、中学年用、高学年用の「がんばりカード」

### 感想から

- 親はやることが見えるので、具体的に取り組むことができた。子どもは、〇がもらいたいので、まじめに頑張った。
- 自学をやってみて、内容がとてもよかった。学習の反復ができた。
- 中学年40分を親子で設定して取り組むことができた。
- 自学の内容がよくなった。考える学習ができるようになった。取組週間が終わっても、自学が続いている。

### 【このよさを学びたい!】

- 子どもの学びのつながりを大切にして、保育園・小学校・中学校が連携して、同じ期間に取り組んでいること。
- 家庭学習がんばり週間に高学年が取り組んだ自学の内容が、中学校での学習の内容の充実につながっていること。
- 取組案内に、保育園・小学校・中学校の内容が掲載されていることで、保護者が見通しをもって、親子でルールを決めることができること。

家庭学習がんばり週間に取り組んだ6年生の自学ノート

# 中津川市役所企業内家庭教育研修 講演会型 「キャリアアップ」と 「ワーク・ライフ・バランス」

日時 令和2年11月20日(金) 13:30~16:40

場所 中津川市文化会館

講師 有限会社クレオ代表取締役 女性活躍推進アドバイザー 篠田 寛子 氏  
恵那県事務所振興防災課 家庭教育推進専門職 奥村 多美子

参加者 中津川市役所係長級4年目職員30名



## 自分のキャリア・ビジョンを描き、 職場と家族のコミュニケーションの大切さを学ぶ、企業内家庭教育研修

中津川市役所において、キャリアアップとワーク・ライフ・バランスの研修会が開催されました。管理職を目指す係長に向けて、働きがいのある職場にするためには何が必要かを考え、自分のキャリア・ビジョンを描き、理想の組織にするために自分が実践できることを考えました。その後、「家族の大切さ」について理解し、職場と家族のコミュニケーションの大切さに気づき、家庭と職場の安定が、自らの生活において欠かすことができないことを学びました。

### 内容①

#### キャリアアップ研修

- ・女性活躍が必要な視点  
急激なビジネス環境の変化・ライフスタイルの多様化
- ・女性が活躍するとどんなことが起こるか  
女性の意見で製品やサービスの開発  
時短勤務でも管理職はできる  
これまでの働き方・作業工程を見直すきっかけ  
長時間労働をなくすきっかけ  
小さな子どものいる女性に学ぼう
- ・男女が共に働きやすい職場とは
- ・リーダー職、向き不向きは男女関係ない
- ・職場にあるアンコンシャス・バイアス(無意識に自分の中にある偏った考え)
- ・自分の今後のキャリアを考えながら、働きやすく働きがいのある職場を考えてみる

### 内容②

#### ワーク・ライフ・バランス研修

- ・未来に生きる子ども達が幸せに生きていくためには家庭教育が大切。家庭教育はすべての教育の出発点
- ・子どもは家庭の中だけで育つわけではなく、学校や地域の様々な人達と関わり、見守られながら成長する。
- ・子どもを育てることは未来の日本を支える人材を育てる重要な営み。
- ・職場と家庭で取り組む家庭教育。家族のコミュニケーションと職場のコミュニケーションの大切さ。
- ・家庭の安定は職場の安定。職場の安定は家庭の安定。
- ・家庭教育を理解している上司がいる職場は、明るく働きやすい。
- ・まずできることから。挨拶でコミュニケーション作りを。



### 【このよさを学びたい!】

- ・これから管理職を目指す職員を対象に、キャリアアップとワークライフバランスの2つの研修を開催したことで、職場での自分のキャリアビジョンと自分の生活のライフステージを合わせて考えることができたこと。
- ・隣の人と、キャリアビジョンについて交流したり、家庭教育のクイズを考えたりすることで、講話を聴くだけでなく、参加しながら学ぶことができたこと。

キャリアアップ研修



## 1月1日~1月31日は「家庭の日」普及実践強調月間です

- 園学校 家族や家庭について話し合い、子ども達に家族のあり方や関わりについて考える機会を積極的に提供します。
- 各家庭 家族でふれあう時間を大切に、家族みんなで体力づくりや文化活動に取り組んだり、家庭の仕事をつかち合うなど、家族の絆を深めます。  
家族で話し合って「わが家の約束」を決めるなど、家庭教育の実践に積極的に取り組みます。

家族とのふれあいの時間を大切にして、家族の絆を深めましょう。子どもにとって、家庭が温かく安心できる幸せな場でありますように。